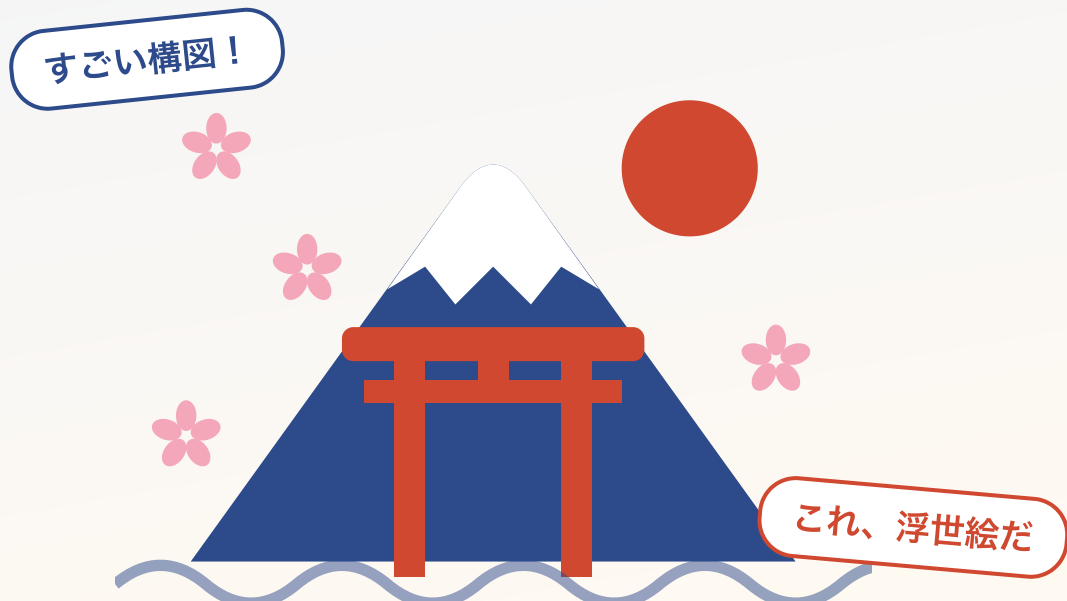




浮世絵

江戸の絵から、世界がのぞく



この教材の使い方

1

見て・ふれて・感じる

写真や実物、動画でも確かめてみましょう。身近な行事や食べ物の中にも、日本文化はたくさんあります。

2

「なぜ？」を考える

行事やしきたりには、それぞれ意味や願いがこめられています。由来を知ると、ぐっと面白くなります。

3

「やってみよう」で体験する

答えは30ページにあります。家族や地域の人に話を聞くのもおすすめです。地域によるちがいも楽しみましょう。



Ken (ケン)

日本の中学生。地元のお祭りが大好き。



Emma (エマ)

カナダから来た留学生。日本文化を勉強中。

もくじ

浮世絵の基本	3～9
浮世絵師たち	10～15
浮世絵の色と広がり	16～21
見て・体験する	22
おさらい	23～24
まとめの練習	25～27
ふり返し	28～30

浮世絵ってなに？

浮世絵は、江戸時代の人々の暮らしや風景をえがいた絵です。

浮世絵とは、江戸時代を中心に発展した、**庶民の暮らしや風景をえがいた絵**です。

「浮世」とは、その時代を生きる、今この世界のことを意味する言葉といわれています。



浮世絵にえがかれたもの

美しい女性

役者

風景

力士

妖怪

身近な人気者や、旅先の景色など、さまざまなものが題材になりました。

ポイント

- 浮世絵の多くは、木版画という技法で大量に刷られました。
- 手ごろな値段で買えたため、庶民の間で広く親しまれました。

やってみよう

1. 浮世絵の絵を1枚見て、何がえがかれているか書こう。

2. 今のポスターやマンガと似ていると感じるところはありますか。

書いて覚えよう

浮世絵の歴史

浮世絵は、江戸時代を通じて発展していきました。



始まり

はじまり

肉筆画や版画が広まり始める

江戸時代前期



全盛期

ぜんせいき

多色刷りの錦絵が発展する

江戸時代中期～後期



海外へ

かいがい

ヨーロッパの美術に影響をあたえる

江戸時代末～明治

ポイント

- 浮世絵は、はじめ墨一色の絵として始まったといわれています。
- 江戸時代中期には、何色もの色を重ねて刷る「錦絵」が生まれ、表現が豊かになりました。

やってみよう

1. 浮世絵が発展した3つの時期を、自分の言葉で説明しよう。

書いて覚えよう

木版画のしくみ

浮世絵の多くは、木の板を使ってすり出されています。

木版画

もくはなが／woodblock print

木の板に彫った絵柄に色をつけ、紙にすりうつす技法

ポイント

- 絵の色ごとに版木（はんぎ）を作り、1色ずつ順番に紙に重ねてすります。
- 同じ版木を使えば、同じ絵を何枚もすり出すことができます。

やってみよう

1. 版画とふつうの絵の、いちばんのちがいは何だと思いますか。

ワンポイント 色の数が多い浮世絵ほど、使われる版木の数も多くなります。

書いて覚えよう

絵師・彫師・摺師

1枚の浮世絵は、3種類の職人の力でできあがります。

絵師

下絵をえがく人。葛飾北斎などが有名

彫師

下絵をもとに版木を彫る人

摺師

版木に色をつけ、紙にすり出す人

Emma

浮世絵って、絵師が1人で全部つくるのかと思ってた。



Ken

実は3人の職人が力を合わせて、1枚の絵を完成させるんだよ。

ポイント

- 絵師の下絵をもとに、彫師と摺師が高い技術で仕上げていきます。
- 出版元である版元が、絵師や職人をまとめる役割を果たしました。

やってみよう

1. 3つの役割のうち、やってみたいのはどれですか。 _____

書いて覚えよう

美人画は、当時の女性の美しさをえがいた絵です。

美しい女性をえがいた浮世絵

- 着物や髪型など、当時の流行が細かくえがかれています。
- 顔立ちだけでなく、しぐさや後ろ姿の美しさも表現の工夫の1つでした。

1. 美人画に見られる着物や髪型で、気づいたことを書こう。

一般社団法人文化芸術支援協会 | 浮世絵 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

役者絵

役者絵は、歌舞伎役者の姿をえがいた絵です。

役者絵

やくしゃえ/yakusha-e

歌舞伎役者をえがいた浮世絵

ポイント

- 人気役者の役者絵は、今でいうポスターやブロマイドのような役割もありました。
- 見得（みえ）とよばれる決めポーズがえがかれることも多くありました。

やってみよう

1. 今の芸能人のポスターと役者絵の似ているところを考えよう。

書いて覚えよう

風景画は、日本各地の景色をえがいた絵です。

ふうけいが／landscape print

山や海、街道などの景色をえがいた浮世絵

ポイント

- 旅先の景色をえがいた風景画は、旅に出られない人々の楽しみにもなりました。
- 実際の景色に、構図の工夫が加えられていることもあります。

やってみよう

1. 行ってみたい景色を1つ思いうかべて、書こう。

書いて覚えよう

かつしかほくさい

「富嶽三十六景」などで知られる江戸時代の絵師

ポイント

- 70年近くにわたり、風景画から動植物まで、さまざまな絵をえがき続けました。
- 海外の画家にも大きな影響をあたえたといわれています。

やってみよう

1. 北斎の作品を1つ見て、印象に残ったことを書こう。

書いて覚えよう

歌川広重は、旅の風景を情感豊かにえがいた絵師です。

うたがわひろしげ

「東海道五十三次」などで知られる江戸時代の絵師

ポイント

- 雨や雪など、天気の実況がたくみだったといわれています。
- 旅の道すじにある宿場町の様子を、生き生きとえがきました。

やってみよう

1. 広重の絵にえがかれる天気の種類を、調べて書こう。

書いて覚えよう

喜多川歌麿

喜多川歌麿は、美人画で高い人気を集めた絵師です。

喜多川歌麿

きたがわうたまろ

美人画で知られる江戸時代の絵師

ポイント

- 顔を大きく大写しにする「大首絵」という構図で人気を集めました。
- 女性の表情やしぐさを細やかに表現しました。

やってみよう

1. 顔を大きくえがく効果は何だと思われますか。

書いて覚えよう

富嶽三十六景

富嶽三十六景は、さまざまな場所から見た富士山をえがいた連作です。

「富嶽三十六景」は、葛飾北斎が、いろいろな場所から見える**富士山**をえがいた連作です。

大きな波と富士山をえがいた「神奈川沖浪裏」は、特によく知られています。



ポイント

- 同じ富士山でも、場所や季節によってちがう表情でえがかれています。
- 波や雲など、自然の力強さの表現も見どころです。

やってみよう

1. 「神奈川沖浪裏」を見て、感じたことを書こう。

書いて覚えよう

東海道五十三次

東海道五十三次は、江戸と京都をむすぶ道の宿場町をえがいた連作です。

東海道五十三次

とうかいどうごじゅうさんつぎ

歌川広重がえがいた、東海道の宿場町の連作

ポイント

- 江戸と京都をつなぐ東海道には、53の宿場町がありました。
- それぞれの宿場町の風景や人々の様子が、1枚ずつえがかれています。

やってみよう

1. 旅の思い出を絵にするとしたら、どんな場面をえがきますか。

書いて覚えよう

浮世絵の美しい色は、顔料と工夫の積み重ねです。

べろあい

海外から伝わった、あざやかな青色の顔料

- 江戸時代後期には、海外から伝わった青色の顔料が広く使われるようになりました。
- この青色は、空や海の表現をより美しくしたといわれています。

1. 浮世絵の中で、いちばん印象に残る色は何ですか。

浮世絵と海外

浮世絵は、海をこえてヨーロッパにも伝わりました。

ポイント

- 江戸時代の終わりごろ、浮世絵は輸出品の包み紙として海外に渡ったともいわれています。
- その大胆な構図や色づかいが、ヨーロッパの画家たちをおどろかせました。



Ken

浮世絵って、外国の有名な画家にも影響をあたえたんだって。

Emma

包み紙として海を渡ったのがきっかけだったなんて、おもしろいね。



やってみよう

1. 身近なものが思わぬきっかけで広まった例を、ほかに考えてみよう。

書いて覚えよう

ジャポニスムとは、ヨーロッパで広がった日本文化への関心です。

ジャポニスム

Japonisme

19世紀のヨーロッパで広まった、日本美術への関心・流行

ポイント

- 浮世絵の構図や色づかいが、ヨーロッパの画家の作品にも取り入れられたといわれています。
- 絵画だけでなく、工芸やデザインにも影響が見られます。

やってみよう

1. 日本の文化が海外で人気になっている例を、ほかに知っていますか。

書いて覚えよう

浮世絵の魅力

浮世絵には、江戸の人々の暮らしと工夫が詰まっています。

ポイント

- 浮世絵は、絵師・彫師・摺師の技が合わさってこそ完成する作品です。
- 庶民の暮らしに寄りそいながら、世界にも影響をあたえた点も魅力です。

やってみよう

1. 浮世絵の魅力を、自分の言葉で1文にまとめよう。

ワンポイント 1枚の浮世絵をじっくり見ると、当時の流行や暮らしぶりが見えてきます。

書いて覚えよう

写真や実物を見てみよう・体験してみよう

見て、ふれて、浮世絵のことをもっと知ろう。

美術館の展示

実物の色や大きさを感じてみよう

画集や図録

お気に入りの1枚をさがしてみよう

消しゴムはんこ

版画のしくみを体験してみよう

ポイント

- 実物は、印刷物よりも色が深く、細部の彫りが美しく見えることがあります。
- 身近な材料でも、版を使ってすりうつすしくみは体験できます。

やってみよう

1. 美術館や画集で見た浮世絵で、印象に残ったものを書こう。
-
2. スタンプなどで版画の体験をしてみた感想を書こう。

ワンポイント 美術館では、展示品に手をふれず、静かに鑑賞するのがマナーです。

書いて覚えよう

由来と意味をおさらい・地域によるちがい

浮世絵の由来と、広がりを確認しよう。

ポイント

- ・ 浮世絵は、江戸時代の庶民の暮らしや流行をえがいた版画です。
- ・ 絵師・彫師・摺師の分業によって、手ごろな値段で広く親しまれました。

中心地

特色

江戸

役者絵・美人画・風景画が多く出版された

京都・大坂

独自の役者絵の文化が発展した

やってみよう

1. 浮世絵がどのように広まったかを、自分の言葉で説明しよう。

書いて覚えよう

昔と今をくらべよう・よくある疑問

昔と今のちがいや、よくある疑問を確認しよう。

昔

江戸時代の楽しみ方

版画として大量に流通

手ごろな値段で買えた

役者・風景などが人気

今の情報や娯楽の役割も

今

現代の楽しみ方

美術館や画集で鑑賞

貴重な美術品として大切に

デザインやグッズに應用

新しい形で親しまれている

よくある疑問

1. Q. 浮世絵は絵師が1人でえがいたの？ → A. 絵師・彫師・摺師など複数の職人が分業していました。
2. Q. 浮世絵は今も新しく作られているの？ → A. 昔ながらの技法を受けつぐ職人によって、今も作られています。

書いて覚えよう

マナーと注意点・用語をおさらい

鑑賞や体験のときの注意と、言葉を確認しよう。

ポイント

- 美術館や博物館では、展示品に手をふれず、静かに鑑賞しましょう。
- 彫刻刀など刃物を使う版画体験は、必ず大人といっしょに行いましょう。
- 貴重な資料は光や湿気に弱いため、フラッシュ撮影が禁止されていることがあります。

浮世絵の言葉

☐ 錦絵

多色刷りの浮世絵

☐ 美人画

美しい女性をえがいた絵

職人の言葉

☐ 絵師

下絵をえがく人

☐ 彫師・摺師

版木を彫る人・すり出す人

書いて覚えよう

1. _____
2. _____
3. _____

- | | | |
|--------------------------|------------------|--------|
| ☐ | 浮世絵の意味を説明できる | 浮世絵の基本 |
| ☐ | 絵師・彫師・摺師の役割を言える | 分業のしくみ |
| ☐ | 有名な絵師の名前を1人あげられる | 浮世絵師 |
| ☐ | 鑑賞するときのマナーを言える | 安全への意識 |

- ✓がつかなかった項目は、もう一度そのページにもどってみましょう。

書いて覚えよう

家族や友だちに話してみよう・英語で紹介してみよう

浮世絵のことを、まわりの人に伝えてみよう。

伝えたい相手

紹介する作品

いちばん伝えたい
こと

Emma の例

伝えたい相手 家族／紹介する作品 神奈川冲浪裏／いちばん伝えたいこと 波と富士山の迫力ある構図

ukiyo-e

ウキヨエ

浮世絵

woodblock print

ウッドブロック プリント

木版画

書いて覚えよう

もっと知りたい人へ・学んだことをまとめよう

浮世絵の世界を、これからも広げていこう。

もっと知りたい人へ

美術館で

浮世絵の企画展を調べる

画集で

好きな絵師の作品を見る

次に学べること

日本画

岩絵の具でえがく絵

書道

筆でえがく文字の美

まとめ 自分の言葉で書こう

1. 浮世絵とはどんなものですか。 _____
2. いちばん心に残った絵師や作品は？ _____

書いて覚えよう

浮世絵チャレンジ

浮世絵の見方を、日常にも生かしてみよう。

さがそう

図書館で浮世絵の画集を見つける

見つけよう

自分のお気に入りの1枚をさがす

伝えよう

浮世絵の魅力を家族に話す

こたえ

L28 富嶽三十六景→エ 東海道五十三次→ウ 美人画→オ 個性的な
役者絵→ア ペロ藍→イ 2. 絵師 / 彫師 / 摺師

L32-33 (例) 浮世絵は、江戸の暮らしと流行をえがいた版画で、
世界の美術にも影響をあたえた。

書いて覚えよう

浮世絵 (Season 5 | No.47)

発行：一般社団法人文化芸術支援協会

この教材の著作権は一般社団法人文化芸術支援協会に帰属します。個人の学習および家庭内での利用に限り、閲覧・保存・印刷ができます。

有料の講座・塾・研修での使用、販売・再配布、改変しての公開、生成AIへの入力などの商用利用は禁止しています。

くわしくは当協会ウェブサイトの「ウェブサイト利用規約」をご覧ください。